

ふれあうナカマ 育む見守る



ふれあうナカマ 育む見守る



飛行機がずらり 空の魅力を実感

青森県立三沢航空科学館 (三沢市)

三沢市は世界初の太平洋無着陸横断飛行に成功した「ミス・ビードル号」が飛び立った地です。そのつながりから2003年に開館しました。ミス・ビードル号の実物大復元機が屋内外に展示され、迫力満点です。「月の重力を感じよう」では、ワイヤと重りを使い、重力が地球の6分の1とされる月での行動を体験できます。カプセルに乗って浮いたり落下したりする「プローブIV」



三沢航空科学館に展示されている「ミス・ビードル号」の実物大復元機

は子どもたちに大人気で、空の魅力と科学の力を感じてください。連絡先は0176(50)7777。(引地勝博さん)

さわやかな空気 自慢の牛乳最高

小岩井農場 (岩手県雫石町)

岩手山のふもとにある広い敷地で、自然を満喫できます。ことしはガイドの案内で牛舎を見学し、牛に関する豆知識や農場の歴史を学ぶツアーを始めました。牛を見ながら飲む農場自慢の牛乳は最高の味わいです。乗馬やポニーへのえさやりなど、動物と出合えるイベントがたくさんあります。ブランコやシーソー、トランポリンなど、遊具も充実しています。トラクターが引く客車に乗って森を巡るツアーも人気です。農場産の生乳を使ったジェラート、ソフトクリームも名物です。さわやかな空気を感

じられますよ。連絡先は022(276)2201。(佐々木敏紘さん)

「自然への入り口」は、ジャンゲルジムのように展示されたキノコや草花、石などの標本を移動しながら見て、自然の不思議を感じる事ができます。恐竜の骨格標本はその大きさに圧倒されます。体験できる展示も充実しています。地震の揺れの激しさがわかる「グラリくん」、薬品を混ぜて匂いを作る「香りファクトリー」、自分の周りをシャボン玉で囲むコーナーなどが人気です。科学の楽しさ、奥の深さを学びに来てください。連絡先は022(276)2201。(佐々木敏紘さん)

東北6県の子ども向け施設徐々に再開



新型コロナウイルスの影響で休みとなっていた東北の子ども向け施設が徐々に再開されています。対策を講じながら、ウイリスの収束とみんなの来場を待つ担当者の方に見どころなどを聞いたので紹介します。

木登り体験遊具 彫刻作品も展示

秋田ふるさと村 (横手市)

東京ドーム4個分の広さに、横手名物かまくらの形をしたプラネタリウムや秋田県立近代美術館などがあり、子どもから大人まで楽しめます。トリックアートや大型アスレチック、巨大プールなどがある「ワンダーキャッスル」は子どもに大人気。屋外には高さ7層の遊具「やまびこの樹」があり、安全を確保しながら木登り体験ができます。七宝焼でアクセサリを作る体験コーナーも人気です。美術館の周りに



木登り体験ができる秋田ふるさと村の「やまびこの樹」

は現代の彫刻32作品を展示しています。歩きながら作品を全部見つけられるか挑戦してはどうでしょう。連絡先は0182(33)8800。(福田昂太さん)

高さ30m観覧車 山形市内を一望

リナワールド (上市市)

東北で有数の規模の遊園地です。おすすめは高さ30mの観覧車。山形市内が眼下に一望できるほか、天気がいい日は月山もはっきり見えます。

ジェットコースターは3種類あり、身長に応じて楽しめます。メリーゴラウンドやバイキング、ゴーカートなど定番の乗り物もあり、小さい子どもも安心して遊べます。食べ物ではルーが白い「ホワイトカレー」が見た目の珍しさもあって人気メニュー。園内は木

人気のカワウソ 家族で窓掃除?

アクアマリンふくしま (いわき市)

ユウラシアカワウソの家族8匹が人気です。休んでいる間、窓掃除をしているような動画を配信したら話題になりました。連絡先は0246(73)2525。(金成美枝さん)

連絡先は019(692)4321。(土橋葉月さん)

連絡先は0246(73)2525。(金成美枝さん)

た。その様子を実際に見ることが出来ます。小さい水槽の展示も増やしました。海藻の隙間に隠れるタツノオトシゴの一種サンゴタツも仲間入りしました。親子で一緒に生き物探しを楽しめます。ことしは開館して20年になります。当初からいる24歳のトドのイチローも元気いっぱいです。屋外で水遊びを楽しめる蛇の目ビーチも再開しました。水の生き物を見に来てください。連絡先は0246(73)2525。(金成美枝さん)